

・わが社で特に記憶に残っているのは、受けた指示や、会話の最後に必ず「ありがとうございます」と付ける社員がいました。
 こちらとしては非常に気持ちが良い。
 多分教えられたわけではなく自然と習慣になっているのだと思いますが、やはり見えていますと職場に馴染むのが早かった。先輩たちの彼への面倒見も良かったように感じます。
 (細田委員)

・やはり、最終的には人間関係の形成が重要になってくるのではないのでしょうか。仕事の出来は経験も大きな要素です。
 しかしながら、職場にまず溶け込み集団の一員として力をつけていくためには、やはり積極的な人間関係の形成、つまりコミュニケーション能力が重要視されてくるのではないのでしょうか。
 (広末委員)

5. その他 意見交換

- ・本事業終了後の活動内容に関して事務局より説明した。
- ・各委員より情報交換会を行った。

・本事業終了後の活動についてですが、事業の概要は「成果報告会」という形で発表します。
 成果物としては「生徒個人データ管理システム」と「職業教育スキルアップカリキュラム副教材」の作成。
 本会議の内容や取り組みに関して記載した「成果報告書」の3点になります。
 これらを全国の高等専修学校及び各都道府県協会などに送付予定です。その後分科会でも検討していただきましたが、「生徒個人データ管理システム」を希望する学校・団体があれば普及予定です。

・最後になりますが、3年間本事業にご協力いただきました各委員の方々にお礼申し上げます。特に本年度に関しては「新型コロナウイルス」が流行し、各校・各社・各団体に関しても大きな影響がある中ご協力頂きました事は感謝の言葉だけでは表せません。次年度以降どの様な世情になっているかわかりませんが、高等専修学校の生徒の教育のためご協力いただければ幸いです。
 (千代田委員)

情報共有ネットワーク構築分科会

事業名	「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」																										
会議名	様々な問題を抱える高等専修学校生が社会人として定着するための地域ネットワークシステム構築事業 第1回情報共有ネットワーク構築分科会																										
開催日時	2020年10月21日(水) 15時15分～15時50分																										
場 所	大阪技能専門学校 会議室 (大阪府岸和田市神須屋町 413)																										
出席者	<p>①情報共有ネットワーク構築分科会構成員(委員)</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 25%;">大阪技能専門学校</td> <td style="width: 25%;">前川委員</td> <td style="width: 25%;">大阪技能専門学校</td> <td style="width: 25%;">千代田委員</td> </tr> <tr> <td>英風女子高等専修学校</td> <td>西口委員</td> <td>東朋高等専修学校</td> <td>岡崎委員</td> </tr> <tr> <td>若者サポートステーションやまと</td> <td colspan="3">原田委員(リモート出演)</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">(計5名)</p> <p>②事務局</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 60%;">大阪技能専門学校</td> <td style="width: 40%;">三浦</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">(計1名)</p> <p>③オブザーバー</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 25%;">ボデーショップ岩本</td> <td style="width: 25%;">岩本委員</td> <td style="width: 25%;">(株)日本トラフィックサービス</td> <td style="width: 25%;">広末委員</td> </tr> <tr> <td>アリバ有限会社</td> <td>細田委員</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>大阪技能専門学校</td> <td>有末</td> <td>大阪技能専門学校</td> <td>松長</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">(計5名)</p> <p style="text-align: right;">(参加者合計 11名)</p>	大阪技能専門学校	前川委員	大阪技能専門学校	千代田委員	英風女子高等専修学校	西口委員	東朋高等専修学校	岡崎委員	若者サポートステーションやまと	原田委員(リモート出演)			大阪技能専門学校	三浦	ボデーショップ岩本	岩本委員	(株)日本トラフィックサービス	広末委員	アリバ有限会社	細田委員			大阪技能専門学校	有末	大阪技能専門学校	松長
大阪技能専門学校	前川委員	大阪技能専門学校	千代田委員																								
英風女子高等専修学校	西口委員	東朋高等専修学校	岡崎委員																								
若者サポートステーションやまと	原田委員(リモート出演)																										
大阪技能専門学校	三浦																										
ボデーショップ岩本	岩本委員	(株)日本トラフィックサービス	広末委員																								
アリバ有限会社	細田委員																										
大阪技能専門学校	有末	大阪技能専門学校	松長																								
議題等	<p>《会議の目的》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年までに検討した情報収集方法を具体的に試験運用し効果や改善点などを検討協議して完成を目指す。 ・今年度最終成果物である情報収集データベースシステムの使用方法や管理方法について協議する。 <p>《次第》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 総括挨拶 3. 事業進捗状況説明 4. 今年度の具体的活動の協議・検討 <ol style="list-style-type: none"> 1) 各校の情報収集の事例報告 2) 具体的事例の検討 5. 本日の振り返りと次回分科会における議事内容確認 6. その他 意見交換 7. 諸連絡・今年度タイムスケジュールについて 8. 閉会 																										

議題等	<p>《議事内容》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 開会 <ul style="list-style-type: none"> ・幹事校総括の前川委員より開会宣言。 2 総括挨拶 <ul style="list-style-type: none"> ・幹事校総括の前川委員より今年度最終年度の成果物について報告を行う。 3 事業進捗状況説明 <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より前年度最終成果の報告と今年度事業成果目標について細かく説明を行う。 また今後の会議予定と成果物完成を含めたタイムスケジュールについて確認する。 4 今年度具体的活動の協議 <ol style="list-style-type: none"> 1) 各校の情報収集の事例報告 <ul style="list-style-type: none"> ・本事業に参加の大阪技能専門学校、英風女子高等専修学校の情報収集方法の意見交換を行い、その際の問題点・注意点などについて事例を挙げて検討・協議した。 また、各校の生徒の実態も併せて情報交換した。 ・昨年成果物の「大阪府高校生活支援カード」を今年度大阪技能専門学校で入学生に対し使用したその効果や改善点について協議した。 2) 今年度最終成果物について <ul style="list-style-type: none"> ・最終成果物について大まかな形と日程について説明し、全体に周知した。 5. 本日の振り返りと次回分科会における議事内容確認 <ul style="list-style-type: none"> ・次回開催時までの持ち越し事案を全体で再確認する。 <ol style="list-style-type: none"> ①「生徒カード」の聞き取り項目追加記載内容について。 ②データの効果的な使用方法や目的について。 6. その他 意見交換 <ul style="list-style-type: none"> ・次回開催時の進行に関して意見をいただく。 7. 諸連絡・今年度タイムスケジュールについて <ul style="list-style-type: none"> ・次回開催時期を全員で確認する。 <ol style="list-style-type: none"> 11月25日（水）を第2回開催日として全員で確認した。 8. 閉会
-----	---

《各委員からの意見》

1) 各校の情報収集の事例報告

【大阪技能専門学校】

- ・今年度は、生徒入学時に昨年構築した「学校生活サポートカード」を使用した。これについて検証したい。

利点としては、入学前の聞き取りが非常に簡潔に行えるようになった。

以前は一人ずつ担当教員が入学手続きの際に対応し、様々な話の中から本人の性格や学校とのかかわりなどの聞き取りをしていた。

これにはかなりの時間と聞き取る側のスキルが求められる。しかしこのカードを利用することにより均一に短時間である程度の内容を聞き取れるようになった。

さらなる改善の余地としては、設問内容をもう少し具体的にわかりやすくする必要があると思われる。
(有末オブザーバー)

- ・この点で各校に聞いてみたいのですが、各校での聞き取りの状況について教えてください。
(千代田委員)

【英風女子高等専修学校】

- ・本校では以前もお話したように「自由記述」にしています。かなり詳しく書いていただけ、その結果を踏まえ各担任が必要に応じて聞き取りを行います。

(西口委員)

- ・具体的にどのあたりまで詳しく聞いているのでしょうか。本校のサポートカードも先ほど有末委員が説明したように可能ならばもっと詳しく聞きたいのですが。そのあたりも踏まえ、実際に各校に合わせて使いやすいカードになるよう検討して頂きたい。

併せて各校で、実際にサポートの必要な生徒はどのくらいの割合で在籍していますか。
(千代田委員)

【東邦高等専修学校】

- ・本校では、かなり細かく聞いています。先ほどの記述の中で必要な生徒に関しては細かく聞き取りを行い対応を検討しています。

(西口委員)

- ・本校では、サポートの必要な生徒の割合ですが実際に手帳を所持している生徒もかなり多くいます。本校では三者懇談を実施しており、そのうちの1回が入学してすぐの時期に行い、その際に保護者から細かく聞くようにしています。

(岡崎委員)

- ・「生徒サポートカード」についてですが、生徒と保護者の記入欄がどちらからも見えるようになっているのは良くないのではないかと。保護者が見るとなれば、生徒も核づらいであろうし、保護者も子供が見るとなれば本音を書きづらいと思う。本校でのアンケートは生徒と保護者を分け、どちらも封筒を渡し厳封しそういう配慮は必要ではないか。

そうすることで意見を引き出しやすいと考える。

(西口委員)

2) 今年度最終成果物について

- ・生徒カードのデータ版を次回会議までに再度確認して頂き改善の余地があるのならば、意見を持ち寄り検討したい。

出来れば政策の都合上、次回会議でいったん試案を完成させ第1次修正案として外部業者に出したい。
(事務局)

6. その他 意見交換

- ・先ほどの意見の中でもあったように「学校生活サポートカード」について設問内容等検討の余地があるのならば持ち帰り検討いただきたい。

できれば次回会議で調整し、完成させたい。
(事務局)

《会議風景》

議題等



事業名	「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」
会議名	様々な問題を抱える高等専修学校生が社会人として定着するための地域ネットワークシステム構築事業 第2回情報共有ネットワーク構築分科会
開催日時	2020年11月25日(水) 15時15分～15時50分
場 所	大阪技能専門学校 会議室 (大阪府岸和田市神須屋町413)
出席者	<p>①情報共有ネットワーク構築分科会構成員(委員)</p> <p>大阪技能専門学校 前川委員 大阪技能専門学校 千代田委員 英風女子高等専修学校 西口委員 東朋高等専修学校 岡崎委員 岸和田市立久米田中学校 佐々木委員 若者サポートステーションやまと 原田委員 (計6名)</p> <p>②事務局</p> <p>大阪技能専門学校 三浦 (計1名)</p> <p>③オブザーバー</p> <p>ボデーショップ岩本 岩本委員 (株)日本トラフィックサービス 広末委員 アリバ有限会社 細田委員 大阪技能専門学校 有末 大阪技能専門学校 松長 (計5名)</p> <p>(参加者合計12名)</p>
議題等	<p>《会議の目的》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年までに検討した情報収集方法を具体的に試験運用し効果や改善点などを検討協議して完成を目指す。 ・今年度最終成果物である情報収集データベースシステムの使用方法や管理方法について協議する。 <p>《次第》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 総括挨拶 3. 事業進捗状況説明 4. 今年度の具体的活動の協議・検討 <ol style="list-style-type: none"> 1) 各校の情報収集の事例報告 2) 今年度最終成果物について 5. 本日の振り返りと次回分科会における議事内容確認 6. その他 意見交換 7. 諸連絡・今年度タイムスケジュールについて 8. 閉会

議題等	<p>《議事内容》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 <ul style="list-style-type: none"> ・幹事校総括の前川委員より開会宣言。 2. 総括挨拶 <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の今後の流れと最終成果物の作成の流れなどについて幹事校総括の前川委員より説明と報告を行う。 3. 事業進捗状況説明 <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より本事業の目的と最終成果目標について説明し今回の議事進行について簡単に確認する。 4. 今年度具体的活動の協議 <ol style="list-style-type: none"> 1) 各校の今年度の学校の様子や状況の事例報告 <ul style="list-style-type: none"> ・本事業に参加の大阪技能専門学校、英風女子高等専修学校、東朋高等専修学校の現在の生徒の様子や今年度の状況について報告する。 2) 生徒個人カードの内容の検討について <ul style="list-style-type: none"> ・各校の状況及び特色を踏まえ、個人カードへの記載内容について再確認した。 ・前回からの引継ぎで各校の特色や状況により自由記載の追加について再度検討・協議した。 3) 生徒個人カードの保管方法について <ul style="list-style-type: none"> ・前年度からの引継ぎ検討事案としてデータの保管方法や内容の閲覧に制限をかけるかなどの項目を検討し、意見交換を行った。 4) その他 <ul style="list-style-type: none"> ・今回使用した「学校生活サポートカード」の運用方法について意見があったので全体に周知し協議した。 5. 本日の振り返りと次回分科会における議事内容確認 <ul style="list-style-type: none"> ・次回開催時までの持ち越し事案を全体で再確認する。 <ol style="list-style-type: none"> ①「生徒カード」の各校に合わせた追加記載が可能かどうか。 ②データの閲覧制限などの設定はどのような種類があり、可能なのか。 7. 諸連絡・今年度タイムスケジュールについて <ul style="list-style-type: none"> ・次回開催時期を全員で確認する。 <ol style="list-style-type: none"> 1 1月25日（水）を第2回開催日として全員で確認した。 8. 閉会
-----	---

<p>議題等</p>	<p>《各委員からの意見》</p> <p>1) 今年度事業成果目標の内容についての説明</p> <p>【大阪技能専門学校】</p> <p>今年度の生徒の様子で、気になるのは全体的に1年生が落ち着きがないような気がします。例年であれば1学期中盤から学校に慣れ始め徐々に落ち着いてくるのですが、今年度に関してはそれが感じられない。</p> <p>考えられるのは年度前半で休校状態となった影響で時期が後ろにつき、現在もまだ学校に馴染めていない生徒が多くいるように思われます。</p> <p style="text-align: right;">(有末オブザーバー)</p> <p>【英風女子高等専修学校】</p> <p>今年度特に感じられるのは、生徒の各家庭の経済状況の悪化が顕著に感じられます。それが、各生徒の学校生活全般にも影響しているように思われる。</p> <p>また、進路に関しても大きく影響していると思われれます。進学・就職を希望選択する際に家庭の状況により進路変更を考えなければいけない生徒が出てくるのではないかとこの事が心配です。併せて就職活動がオンラインになり生徒も学校側もそれに向けての対応が迫られた。</p> <p>特に生徒においては、慣れていないものが多く、戸惑っているものもいた。</p> <p>また学校側も接続状態や設備などを整えておくなどの課題がある。</p> <p style="text-align: right;">(西口委員)</p> <p>【東朋高等専修学校】</p> <p>今回の事業でアンケートを取って解ったことであるが、進路決定においてコロナ対策で休校になった影響で企業・学校の動きが遅く感じられる。</p> <p>それに伴い、生徒の意思決定や進路決定に対する動きも遅れてきているように感じられる。全体的に外に出ないことで保護者本人も動かない傾向が感じられるが、その辺が原因ではないか。</p> <p style="text-align: right;">(岡崎委員)</p> <p>【岸和田市立久米田中学校】</p> <p>6月15日から通常授業が再開されたが、その中で部活動や学校行事等も徐々に再開したがやはりなかなか進まない状況が続いた。その中で学びの保証として行事の変更や7時間授業など行うことで生徒にしわ寄せがいったように感じられる。</p> <p>特に1年生は落ち着き無く部活動の参加も極端に少ない。また宿泊行事などの中止が影響し学級経営もうまくいっていない様感じられる。</p> <p>2学期になっても落ち着きのない状況が続いている。</p> <p>3年生に関しては規模縮小の中修学旅行なども行い一定の落ち着きを見せている。</p> <p>あとは「ギガスクール構想」で一人一台の端末をとということで工事も進行している。</p> <p style="text-align: right;">(佐々木委員)</p>
------------	--

議題等	<p>2) 生徒個人カードの内容の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒には直接関係がないかもしれないが、Wi-Fi環境というか、ネットの環境が自宅で整備されているのかが気になった。今だからこそであるがコロナ化の状況でネット利用で家庭に配信するときなど自宅のネット環境が整っているのかを調べるのにかなりの時間を費やした。 またネットワークを通じて双方向で行うときにパソコンで行うのかスマートフォンなどを使用しないといけないのかなど、今後を考えて追加しておいてもよいのではないか。(西口委員) ・生年月日欄であるが記入に西暦を使用するのか和暦を利用するのか？ 学校により違うと思うのでその辺対応出来るようにするのも良いのではないか。(西口委員) ・中学校の3年生の担任に先生の名前は必要ないでしょか。中学校現場でも小学校の最終担任に相談するなど活用しています。(佐々木委員) <p>3) 生徒個人カードの保管方法について 閲覧制限の種類と方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制限方法の種類について、次回までにシステム会社と相談をして提案し検討して頂く。 <p>4) 「学校生活サポートカード」について 昨年協議し作成した「学校生活サポートカード」の運用に関して意見があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の聞き取りをする際に、やはり聞きづらい項目例えば支援状況や家庭状況などがある。そのような場合「学校生活サポートカード」を記入方法にすることにより誰が聞いても聞きやすく同じ項目が聞けるので良いのではないかと思う。(千代田委員) ・1枚のカードで本人・保護者の両方に記入させるのであれば、各質問の回答がお互い見えないように配慮すべきではないか。その方が遠慮や遠回しの意見ではなく安心して書きやすいし、お互いの情報を守るという意味でも望ましいと思われる。例えば2枚に分割するなどの方法が望ましい。また、記入したカードは、本校では1枚ずつ封筒に入れるなどの配慮もしているので、その辺の改善が望ましいと思われる。(西口委員)
-----	--

《會議風景》



議題等